

水泳部顧問より

山口尚己

水泳部顧問の山口尚己です。昨年度、都立大島海洋国際高校より九段中等教育学校に來まして今年で二年目となりました。前任校はその名の通り伊豆大島にある学校で、部員も五、六名の小規模な部だったので、非常に不安な中、昨年四月を迎えたのを覚えています。しかしそんな自分を生徒たちや保護者の方々が温かく迎え入れていただいて、今日までやってこれた次第であります。

最近は校務の方もととても忙しくなり、部活に顔を出せない日も増えている中、高校生を中心に非常に良い結果が出ております。これには当然生徒たちの努力もありますが、ここまで積み上げてきたOB・OG・コーチの方々と歴代顧問の先生、そして今年もお世話になっております木原コーチの力によるものであると思っております。私もこうした九段水泳部の伝統を受け継ぎ、次の世代へとつなげていきたいです。

すでに様々な場面で一游会の皆様にはとてもお世話になっておりますが、引き続き厚いご支援をいただけたらと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

河童の便り

34回生 赤司 久雄

○近況○

菊友会や九段中等教育学校経営評議会の関係で、相変わらず学校に足を運び機会が多く

生徒たちの活発に動き回る姿に元気をもらっています。一游会のメンバーとも結構な頻度で顔合わせをしております。

●平成28年12月 忘年会 18名

●平成29年 3月 南房総、石田竹雪さん（32回生）を訪ねる会 7名

●平成29年 4月 青梅、武市一郎さん（28回生）宅でたけのこバーベキュー 14名

●平成29年 5月 ゴルフコンペ（若洲ゴルフリンクス） 11名

皆さん高齢になって来ておられますので、元気な内に出来るだけ顔合わせをしておこうとの思惑です。若年寄会のメンバーの皆様、よろしくお願いいたします。

39回生（高20回）中尾晴夫

○近況○

皆様ご無沙汰しております。

リタイヤして1年半が経ち・今年から江東区にて活動している「和船友の会」に参画し、週に1回程度「櫓漕ぎによる操船」と「和船の維持管理」等の活動に参画しております。無料にて乗船も出来ますので、近くにお越しの折には寄り道してみてください。

40回生 梅本 高志

○近況○

心筋梗塞に脳梗塞、昔の不摂生が今に出ていて危うく命拾いをしています。久しぶりにプールに入りウォーキングや水遊び（程度）やっております。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○
泳いだあとの風呂が懐かしい

43回生（高24回）高木昭美

○近況○

今年度から日本水泳連盟の審判の資格を得て、大会業務に従事しています。大会役員は、選手には、やたらに声をかけてはいけないことになっているので九段の現役がレースに出てきても、そばで黙って見守っています。が、九段の選手が、がんばっているのを見ると思わず胸が熱くなります。6月の東京都高校春季の男子400mリレーでは九段チームが決勝に残り力泳をまじかで見ました。参加校が249校。強豪校の中で決勝に残るのがいかに大変だったか。OB諸兄姉、今年も現役を応援しましょう。

45回生 佐藤正昭

○近況○

定年退職して2年目。今年から年金の一部が出ます。同期の水野君が長く勤めているスイミングクラブで週2日アルバイトをしています。それなりにあちこち痛んできています。前向いて歩いて（泳いで？）います。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

僕たちの代と上の代（44回）は、水泳部を辞めた人が多く寂しかった。2回上の代が1年性の時に学園紛争があり、入学した時は教室のタイルははがれ、プールの底にはほこりがたまり廃棄されたものたちが落ちていた。何で水泳部に入り辞めなかったのか？と考えると、やはり僕にとって学校の中で一番面白い場所だったからだと思う。でも1971年の九段は弱い水泳部だった。エピソードじゃないですね。

51回生 高田 明夫

○近況○

一游会の幹事になって5年になりました。今年は至大荘90周年ということで亭長アンケートを企画しました。亭長制度ができて、来年で60年。生徒の感想文でも先輩の存在が大きいのは、昔も今も変わりません。先輩方の記録を残したく、これから続く者たち、かつて観海亭に過ごした者たちどうしの絆が継がれることを祈っています。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

今から40年前、旧プールは、古くて威厳がありながらも、なぜか3mの飛び込み台と板の飛び込み台が設置されていました。特に板の飛び込み台は、マスコットのように

遊戯施設の微笑で癒してくれました。今年は新校舎のプールができて、30周年、当時、校舎建て替えて運動場がしばらく使えなくても、運動量を維持するため、プールを先に作ったそうです。当初新プールにも3mの飛び込み台がありました。今ではなくなってしまい、少しさびしく感じます。

54回生（高35回） 高橋 文平

○近況○

2014年〜3年間、至大荘助手の助手をしました。助手のなり手は増えてはきたものの、まだまだ不足してあります。大学生より社会人のほうが多いくらいです。みなさん夏休や有給をとって1日〜5日間できる範囲で参加されています。学生がたくさん集まるようにするのが理想ですが、現実的にはまだ学生だけではまかない切れない状況です。

5年前から30年ぶりに週1回泳ぐようになりましたが、初級者級を脱しえませんが、沖船ダッシュだけは、現役に交じっても上位につけているものの、プールでは、週1回では25mのタイムさえも毎年落ちていき目も当てられません。今年度から、週2回に増やしました。一游会で出

る草大会などに、たまに参加させていただいております。割と楽しいので、出ましようよ！タイムは悲しくても、応援も帰りも楽しいですよ！

2年前に転職しました。現在、ときの市場に居りますので、浜離宮・本願寺界限にお越しの際は、ご一報ください。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

・プールの周りの2F部分にギャラリーがあり、男子は大概そこでプールを見下ろしながら着替えていた。古い建屋なので、天井材の落下防止に水平ネットがかけられていた。脱いだ海パンやゴーグルは、無造作にそこに放り投げた。自分の水着が見つからないと、そこにある誰かのものを勝手にはいたりしていた。

・プールの周りの地下部（プールサイドの真下になるのかな？）は一周回れる回廊になっていて、洞窟のように真っ暗でじめじめしていてかび臭くてどこからか風が吹いていて、とても不気味だった。一度だけ夏合宿が学校で行われ、夜肝試しでそこを一周した。ところどころに灯してあるろうそくの炎がわずかに風で揺れていて、きっと靖国神社の地下とつながっているという都市伝説はホントなんだ？とったりした。

・ギャラリーを通じて靖国側に回ると、飛び込み台があった。水面から4m位だったろうか？その下は水深が3m以上あったように記憶している。新卒か2年目でコーチをしている時に、おふぎけで「一番深い所に木製のベンチを沈めて座れ」と自分のコースの部員にさせていたら、そこへ来た大先輩に見つかり、やらせた自分以外の生徒たちが全員殴られ、自分だけがまぬがれたことは、とてもきつい思い出である。

・ボイラーじいさんと言われていた技師さんが、プールの温度調節とともに、毎日風呂にお湯を張ってくれた。特に、まだ水温も気温も上がりにくい4月5月には、練習後の風呂は天国だった。また、せまい湯船に大人数でギュウギュウ林立して入り、「いっせいのせっ」で一斉にしゃがむという伝統的な入浴方法は、非常に楽しかった。

・練習の帰りには、コーチに來ているOBやOGが必ずパン屋さんかお菓子屋さんで、ジャムバター・バターピーか、アイスクリームかかきんとをごちそうしてくれた。たまに、サテンドールという喫茶店で、ハンバーガーなどをおごってくれた。そこでは大概、新入生が先輩たちに難解なクイズなどを次々にたたみ掛けられるという風習があった。「タムタムタムタムメンソレータム」とか、「これは、いい○○か？悪い○○か？」みたいな遊びだった。

・「かつ井タイム」という目標があった。当時高校生にとっては高根の花だった「外食のかつ井!」を、設定タイムを切ればおごってもらえるというもので、とても励みになった。

56回生(高37回) 池永 洋子

○近況○

長男は就活、二男は高校受験を経て、ようやくこれから自分の時間が持てるかと思いきや、子供に手がかからなくなる。次は親の面倒を見るお年頃なんですね。。

63回生 山口晃平

○近況○

ここ最近、オープンウォーターをメインに活動しています。

だいたい午前中に海で泳いで、
昼くらいの明るいうちからビールを飲むという、
最高の競技です!

興味がある方は、ぜひ一緒に出ましょう!

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

高校三年生の16校が終わった後の夏休みに同期で行った、伊豆大島旅行は、引き潮の激しい海で溺れかけながら海水浴したり、往復の東海汽船の中ではドンチャン騒ぎしたり、最高に楽しかった!

また、あんなバカげた旅行をしてみたい。。

63回生 南川卓也

○近況○

娘が保育園に入り、バタバタした日常を送っています。

なかなかプールに行く時間が取れず、練習量は減っています。週に2回泳げれば、御の字ですね。

それでも秋にはトライアスロンに出るつもりです。

走る練習はいつするのか。そもそもバイクで40キロも走れるのか。不安ばかりが募ります。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

いろいろありますが、プールは水が冷たくて寒かった。その頃は厳しい練習で皮下脂肪が少なかったのでしょう。

シャワールームから勝手にホースで熱湯を足してボー爺に怒られたのが印象的です。

あと、同期がプールサイドで思い切りボールを蹴り上げ、天井板をぶち破ったのを覚えています。人があんなに落ち込んでいるのを見たことはありません。

彼はこれが原因(?)で水泳部をやめてしまいました。

66回生 吉見(吉田) 亜衣

○近況○

3年間の育休を終え、また九段に戻りました。たった3年で色々なことが変わっており、ビックリの連続です。

○印象に残っている水泳部・プールのエピソード○

今はもうない腰洗槽にお湯をためてお風呂にしてみんなで浸かったこと。たしか合宿中の練習後? 3年間、学校での合宿でした。

剛至大至



部泳水段九

至大莊開莊90周年記念式典が開催

平成29年7月29日に表題式典が至大莊養気閣で開催されました。

式典は公益社団法人九段が主催し、勝浦市長、守谷区長をはじめとする地元の方々、九段中等教育学校の校長、元校長（佐藤氏）、游泳部教諭、元教諭（増田氏、藤森氏）、PA、菊友会幹事、現役助手など約90名が出席しました。一游会関係者としては、菊友会として赤司さん、酒井さん、原田さん、法人九段として青木さん（進行の大役）、助手会として鳥羽さん、長谷川さん、高田が参加しました。

勝浦市長の挨拶、樽酒の鏡割り、現役助手の一芸披露（ブルゾンちえみのモノマネ）、守谷区のメンバーによる木遣りのほか、一游会からは「水泳部逍遥歌」を披露しました。

一游会からは、記念品として壁掛け時計を10台寄付いたしました。時計鏡面に「一游会有志」の文字入れをしておりますので、至大莊を訪れた時には探してみてください。（写真は赤司さんから法人九段野本理事長への贈呈シーンです）

51回生 高田 明夫 記

